

# 議会だより

No. 115  
2022.2.1 発行

# もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

## 表紙の作品

第2回観光協会観光フォトグランプリ  
議会だより賞  
題名『鎌北湖にも桜かくし』

撮影者 田中 志次さん  
撮影場所 鎌北湖



2P	議長年頭あいさつ
3P ~ 4P	12月議会ではこんなことが決まりました
6P ~ 13P	一般質問 14人が登壇

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会  
〒350 - 0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地  
☎049-295-2112

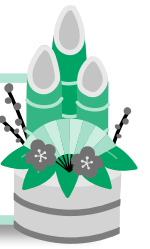
バックナンバーはこちらです⇒



○議会だよりは議員の自主編集により発行しています。



# 本年もよろしくお願いたします



## 年頭あいさつ



小峰 明雄 議長

新年、あけましておめでとう  
ございます。

町民の皆様におかれましては、  
コロナ禍での新年となりましたが、ご家族とともに希望に満ちた  
新春をお迎えのことと拝察し、  
謹んでお慶びを申し上げます。

また、常日頃より議会運営に  
対しまして、深いご理解と温か  
いご支援を賜り、議会を代表し  
て心からお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、  
新型コロナウイルス感染症拡大  
により、私たちの生活は一変し  
ており各種イベントや行事は、  
中止や縮小など余儀なくされ地  
域経済にも多大な影響を及ぼし  
ております。

このような局面において使命  
感を持って自らの危険を顧みず  
最前線で、日々懸命に働いてく  
ださっております、医療従事者  
の皆様や感染予防の為に様々な  
対策で献身的に業務にあたって  
おります皆様には、心から敬意  
と感謝を申し上げます。

本年もコロナ禍における議員  
活動の自粛や様々な制限が余儀  
なくされる中、二元代表制の一  
翼を担う議会として様々な町政  
課題の解決に向け、議論を重ね  
町民皆様の負託に、応えてまい  
りますので一層のご支援とご協  
力を賜りますようお願い申し  
上げますとともに本年も、皆様  
にとりまして幸多い素晴らしい  
年となりますよう心からご祈念  
申し上げます新年のご挨拶と  
させていただきます。



### 条例改正

新型コロナウイルスの感染拡大による民間企業の業績悪化を踏まえ、人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告に準じて職員の期末手当を引き下げた。また、職員との均衡を図るため議員と特別職についても引き下げた。

令和3年12月定例会は11月30日から12月10日までの11日間の会期で開催されました。今定例会に提案された案件は、条例の制定1件、条例の一部改正7件、補正予算3件、規約の変更1件、諮問1件、発議1件の合計14件が上程され慎重なる審議をいたしました。一般質問は14名の全議員が登壇し活発な質問が展開されました。

職務の級	引き下げ額
1級 主事補	29,904円
2級 主事	34,733円
3級 主任	46,454円
4級 係長・主査	57,514円
5級 主幹	60,624円
6級 副課長	68,468円
7級 課長	78,543円

区分	引き下げ額
町長	127,478円
副町長	108,675円
教育長	103,500円

区分	引き下げ額
議長	54,855円
副議長	44,850円
議員	42,090円

※引き下げ額は各級の平均額です。

### 討論

職員の給与と議員報酬等の条例改正に反対します



岡野 勉

政府は「賃上げ」と春闘時に言っていました。何と過去25年間、日本の賃金は下がりました。今やG7で隠しようもなく最低の賃金です。たびたび比較の対象に挙げられる韓国と比べても、月額で約5万8000円の低さ・格差が生じています。答へはハッキリしています。今後も公的給与水準を引き下げ、消費意欲を低下させるのか。それとも町民生活の低下をくい止め、少しでも向上させるために賃下げに反対するのか。

### 補正予算

3回目の新型コロナウイルスワクチン接種委託料など2億80万2000円を追加。

### 本会議での主な質疑

問 1回目2回目の接種予約に関して混乱が生じたため、町では予約の手助け窓口を設けたが、3回目の予約に対する対応は。答 混乱の無いような対応を検討している。

問 児童福祉費・備品購入費15万4000円の内容は。答 児童福祉費・備品購入費15万4000円の内容は。

問 令和4年度より子ども家庭総合支援拠点を整備するにあたり、子ども課窓口前に親子の交流スペースを設ける必要がある。答 マット・本棚・キッズ用のテーブル兼ベンチを購入する。

問 里山平地林事業補助金及び水源地域の森づくり事業合計762万円が減額補正されている理由は。答 里山平地林事業補助金及び水源地域の森づくり事業合計762万円が減額補正されている理由は。

問 県が補助金交付の運用について、森林環境譲与税の概ね8割を間伐等の森林整備に使い、不足する部分を県が里山・水源の事業で支援していく運用に見直しを行ったもの。答 本町の令和3年度予算において、森林環境譲与税の使途は、間伐等の森林整備に充てられていないため、県補助金が交付されないことから全額を減額補正した。

### 補正予算

新型コロナウイルス感染症により影響を受けた子育て世帯を支援する取り組みの1つとして子ども1人あたり5万円を臨時特別給付金として支給するため1億9345万9000円を追加。

### 本会議での主な質疑

問 特別給付金の対象人数は。答 3840人(令和4年3月までに生まれた子供も対象の為見込み人数である)

問 所得制限等により対象外になる人数は。答 173人(未申告者を除く)

問 16歳から18歳の方への給付方法は。答 対象者に通知を郵送し口座情報の申請に基づき給付される。

問 対象者に通知を郵送し口座情報の申請に基づき給付される。

問 16歳から18歳の方への給付方法は。答 対象者に通知を郵送し口座情報の申請に基づき給付される。

問 対象者に通知を郵送し口座情報の申請に基づき給付される。

問 対象者に通知を郵送し口座情報の申請に基づき給付される。

### 討論

補正予算に反対します



明 牧瀬

この給付金の話は10月4日の岸田首相のコロナ禍で苦しんでいる、女性・非正規・学生などに現金給付をしたいとの考えで計画されたもので、いつのまにか対象が子育て世帯になっていく。これでは困っている人に届かないので、反対であり組み直すべきだ。

# 毛呂山町長等政治倫理条例を制定

「毛呂山町長等政治倫理条例」は総務文教常任委員会に付託し、一部修正案が提出され、本会議において賛成多数にて可決。

## 目的

この条例は、町政が町民の厳粛な信託によるものであることを認識し、その担い手たる町長、副町長、教育長が町民全体の奉仕者として、その人格と倫理の向上に努め、常に良心に従い誠実かつ公正にその職務を行うべきことを促し、民主的な町政の発展に寄与することを目的とする。

## 修正前

【第5条第1項】町長等が役員をし、若しくは実質的に経営に携わる企業又は町長等の配偶者若しくは2親等以内の親族が役員をしている企業は、法第142条、第166条及び第180条の5の規定の趣旨を尊重し、町等との請負契約等を辞退し、町民に疑惑の念を生じさせないように努めなければならない。ただし、災害等特別な理由があるときは、この限りでない。

## 修正後

【第5条第1項】町長等が役員をし、若しくは実質的に経営に携わる企業又は町長等の配偶者若しくは2親等以内の親族が役員をしている企業は、法第142条、第166条及び第180条の5の規定の趣旨を尊重し、町民に疑惑を持たれないよう、町等との請負契約等を辞退しなければならない。ただし、災害等特別な理由があるときは、この限りでない。

## 修正前

【第10条第2項】委員は、社会的信望があり、地方行政に関し識見の高い者のうちから、町長が公正を期して委嘱する。

## 修正後

【第10条第2項】委員は、社会的信望があり、地方行政に関し識見の高い者のうちから、町長が議会の同意を得て委嘱する。

詳しい条文は  
ホームページを  
ご覧下さい。



町の条例制定には憲法や地方自治法等の上位法を超えてはならない大原則がある。しかしこの毛呂山町長等政治倫理条例の修正案は、広島県府中市の最高裁、2親等規制においてその辞退を強制ではなく、努力義務にとどめているため、憲法違反でないという判断があったにもかかわらず、あえて法律の専門家の意見も聞かず、議員が勝手に辞退の強制に修正している。これは明らかに憲法違反であり、私は上位法の憲法を無視した修正案に反対する。



高橋達夫議員

修正案に反対します

# 議員発議が提出され全員賛成で可決！

提出者 毛呂山町議会議員 岡野 勉

賛成者 毛呂山町議会議員 牧瀬 明

## 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに 使用しないように求める意見書

沖縄戦では一般住民を巻き込んで悲惨な地上戦が行われ、多くの尊い命が失われた。

糸満市摩文仁(まぶに)の平和祈念公園内にある「平和の礎」には国籍や軍人、民間人の区別なく、沖縄戦など亡くなられた24万1,593名の氏名が刻銘されている。埼玉県関係では1,138柱が眠っており、沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」(洞窟を掘る人)の皆さんの力で令和3年6月現在新たに41柱が追加された。糸満市摩文仁を中心に広がる南部地域は、1972年の本土復帰に伴い、戦争の悲惨さや命の尊さを認識し、戦没者の霊を慰めるために、自然公園法に基づき、戦跡としては我が国唯一の「沖縄戦跡国定公園」として指定されている。同地域では、沖縄戦で犠牲を強いられた県民や命を落とされた兵士の遺骨が残されており、戦後76年が経過した今でも戦没者の収骨が行われている。さきの大戦で犠牲になった人々の遺骨が、入った土砂を埋め立てに使用することは人道上許されない。

よって本町議会は、下記の事項が速やかに実現されることを強く要請する。

### 記

- 1 沖縄戦の戦没者の遺骨などが混入した土砂を埋め立てに使用しないこと。
- 2 日本で唯一、住民を巻き込んだ苛烈な地上戦があった沖縄の事情を鑑み、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」により、日本政府が主体となり、戦没者遺骨収集を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月10日

埼玉県毛呂山町議会

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 内閣官房長官  
厚生労働大臣 国土交通大臣 環境大臣 沖縄及び北方対策大臣

●議案の審議結果(12月定例会)

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議案		議員名													審議結果	
		神山和之	下田泰章	平野隆	澤田巖	牧瀬明	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	岡野勉	高橋達夫	長瀬衛	堀江快治	小峰明雄	
新規条例	毛呂山町長等政治倫理条例	(修正案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	修正可決
		(修正部分を除く原案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一部改正	議員報酬及び費用弁償等に関する条例・職員の給与に関する条例		○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	議	原案可決
	町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例・職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例・学童保育所の設置及び管理に関する条例・国民健康保険条例・国民健康保険税条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
補正予算	一般会計(第5号)		○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	議	原案可決
	一般会計(第6号)		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	水道事業会計(第1号)		○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	議	原案可決
規約変更	西入間広域消防組合の規約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
人事	人権擁護委員候補者の推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	答申適任
発議	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないように求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

一般質問

町政を問う! ~14名が登壇~

- 特産品・加工品支援事業
- 学校教育

下田 泰章

- 投票率向上に向けた施策
- 通学路における合同点検

荒木かおる

- 埼玉県後期高齢者医療広域連合議会2020年度決算
- 埼玉県後期高齢者医療広域連合議会高齢者医療費二倍化

牧瀬 明

- 納税率向上への取り組み
- 介護保険の現状と課題

千葉三津子

- 桂木ゆず6次化に向けての進捗状況
- 小中一貫プロジェクト基本方針の取組状況
- 被災地浪江町支援活動を通じて学んだ事、町行政に活かす事

村田忠次郎

- これからの毛呂山町はどうなるのか
- 株式会社もろやま創成舎
- 町の財政的な諸課題

堀江 快治

- 立地適正化計画及びスマートシティ事業の現状と成果

長瀬 衛

- 新年度の事業施策
- 新型コロナウイルスに対する今後の政策
- 川角駅周辺整備事業

佐藤 秀樹

- 子育て支援 ● 小中学校の現状
- お悔やみ手続き
- 「毛呂山町」と言えば何か

平野 隆

- 交通安全対策
- 特殊詐欺補助金制度

澤田 巖

- 毛呂山町小中一貫校(学校統廃合)
- 福祉会館にエレベーターの設置を

岡野 勉

- 企業誘致による税収増

高橋 達夫

- 本町の少子化対策及び育児支援策
- 町道7号線等の道路冠水

神山 和之

- 教育・子育て環境の充実 ● 定住促進対策
- 高齢者福祉の充実

小峰 明雄

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を議員本人が編集しています。

## モロヘイヤ新たな特産品として未来ある野菜ではないか

### 図 町も知恵を絞って参りたい



下田 泰章

**問** 過去の成果として、種ごとのジャムとモロヘイヤうどんが商品開発された。どちらの商品も栄養価が高く味も良い。モロヘイヤうどんは昨年度町の

イベントが実施されていないなか約6900食の販売実績がある。町の特産品として認知度を高めるために先ずは、多くの町民に新たな特産品を周知することが重要ではないか。町民が知らない商品を町の特産品としてふるさと納税返礼品などで周知しても、事業成果は期待できない。なぜ、今までの事業報告を広報で周知しなかったのか。

**答** 町内にはゆずを加工しジャムを製造している方がいるため営業に支障を来す恐れがあることや、モロヘイヤうどんのみを掲載するとジャム製造を開発した方との扱いが異なることから、双方とも掲載に至らなかった。

**問** タブレットを破損した際の保護者責任に対して不安の声がある。他の自治体では保険の加入や専用ケースの貸与を実施している。本町の対応は。

**答** 保護者の皆様が安心出来る手立てについて検討する。

**問** 修学旅行費個人負担金がコロナ感染拡大前とコロナ禍で事

情が異なり金額に大きな差があるが。

**答** 今後については、ポストコロナの中での修学旅行実施であることを鑑み、助成を研究する。

**問** 来年度から光山小では全ての学年が単学級になる。各学校の教育環境の事情に合わせた学区の見直しや統合という議論を先行する必要があるのではないか。

**答** 多角的な視野から柔軟に対応し、統廃合に対して住民のご理解を求めていく。

## 期日前投票所の増設を

### 図 一部の公共施設には物理的に可能



荒木かおる

**問** 県では投票率の向上に関する報告書を取りまとめその中には期日前投票所の増設を掲げ、市区町村に対し、地域の実情も考慮しながら、有権者にとって

利便性の高い駅前や大型商業施設への設置に向けて積極的な働きかけを行うとある。本町でもまずは公共施設での増設は可能かと思うが如何か。

**答** 新たな選挙システムの導入により、選挙人名簿対照事務のオンライン化が可能になったことから一部の公共施設においては物理的に設置が可能。一方、期日前の運営に関する人材確保、

人件費の増加等の課題もある。

**問** 三芳町では衆院選より期日前投票の増設を開始し、4箇所公民館で日にちと時間を指定し行った。また、令和4年に本町にオープン予定の大型商業施設では全国的にも期日前投票所として協力している。今後町から働きかけは如何か。

**答** 大型商業施設からは防災拠点にもお話をいただいている。期日前投票所としても働きかけを行っていききたい。

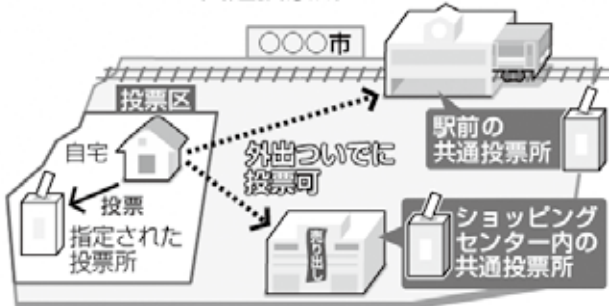
#### 通学路の安全対策

**問** 本町では通学路における合同点検で72箇所危険箇所が公

表された。来年度予算での対応を伺う。

**答** 児童生徒の安全を守ることは行政として非常に重要。令和4年度当初予算編成方針にも通学路の安全対策は特に考慮する事項の一つとして掲げている。通学路の安全対策予算については国庫補助金を有効活用し、計画的且つ適切に通学路の安全対策を関係課と調整を図りながら予算編成を実施していく。

#### 共通投票所とは



有権者の生活動線を意識し期日前投票所の増設を！



町のために英知を絞った方々が報われる周知を。

## 後期高齢者医療制度について

### 【問】保険料の均等割特例軽減の縮小



牧瀬 明

なつた被保険者は1183人、影響額は一人3130円。8割から7割になつた被保険者数は1093人、影響額は一人4170円、合計433万2630円です。

【問】令和2年度の保険料の均等割の縮小による対象者数と影響額を伺います。

【答】令和2年度決算時点で軽減割合が8・5割から7・75割に

【問】均等割額4万1700円の8・5割軽減から7・75割に縮小となつた人は6250円から9380円になりました。この方の世帯の年収(同一世帯内の

被保険者と世帯主の総所得金額等の合計額が基礎控除額33万円以下とするのが国の判断だそうです。

8割軽減から7割軽減になつた人の均等割は8340円から1万2510円となつています。この場合の国の判断は、同一世帯内の被保険者全員が年金収入80万円以下で他の各種所得なしとしています。そこで伺います。法定軽減で7割、5割、2割の各被保険者数を伺います。

【答】令和2年度決算時において7・75割軽減が1183人、7割軽減が1039人、5割軽減

が804人、被扶養者の5割軽減が31人、2割軽減が826人、合計3883人です。被保険者は5557人ですから、7・75割と7割の計は2222人ですから全体の4割。それに5割と2割を足すと3883人ですから低所得者は全体の7割です。差し引くと1674人が一般の人で全体の3割になります。来年の10月から窓口負担が2割になる人は連合会によると毛呂山町は1261人と試算しているそうです。



医療費の心配のない社会を

## 介護保険事業の更なる充実を

### 【問】生活支援体制の整備を推進



千葉三津子

【問】コロナ禍による介護保険事業に大きな変化はあつたか。

【答】事業の縮小等、大きな影響があつた。

【問】高齢化は今後どのように進

【問】医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる仕組みを進める。引き続き「ゆずっこ元気体操」の支援「いきいきシニア講座」の開催や新たに保健事業と介護予防の一体的実施に取り組むことで疾病予防・重度化防止を促進する。

【問】日常生活を支援する体制の整備を進めるとの事だが、具体的にはどのようなことか伺う。

【答】「もろやまふれあいマップ」「訪問型サービス」「ゆずっこ助け合いサービス」などの実施や大手コンビニと連携し「移動販売車」による買い物支援を開始

【問】クレジットカード収納の導入だが考えを伺う。

【答】近隣市町の導入状況や費用対効果の観点から慎重に検討していきたい。

【問】団塊の世代が全て75歳以上となる令和7年の高齢化率は37・1%になる。今後は前期高齢者よりも後期高齢者の方の割合が増えると思される。

【問】介護保険は全国的な課題だ。その様な中「自立支援・介護予防・重度化防止を推進するため様々な事業」に取り組むとの事だが具体的な施策を伺う。

【問】令和元年の導入以来、前年度を大きく上回る。

【問】令和2年度の個人住民税の納税率で県及び全国平均よりも上回つた要因は。

【答】様々な要因の相乗効果で上昇させる結果となつた。

【問】納税率向上への取り組み

【答】スマホアプリの納入方法を導入とあるが効果は。



高齢者生活支援体制の充実を



## 桂木ゆず6次化への進捗状況を伺う

### 【図】先進地の実践を研究して、出来ることを進めたい



村田忠次郎

桂木ゆず6次化への進捗状況を伺う。

これまで①生産農家が農産物加工センターで、ゆず入りの饅頭、ジャム、味噌を製造販売

②桂木ゆずブランド協議会を発足、販売力向上に向け商標を取得 ③大学での分析から桂木ゆずの品質優位性を立証 ④6次化へ向けて搾汁棟を増築した。今後は農家の所得向上と負担軽減策を検討中。

6次化を進める為に町長はどのようにお考えか。

今後は先進地の実践を研究し、出来ることから進めたい。

【問】 小中一貫教育プロジェクト基本方針への取り組み状況は。

【答】 昨年度は、コロナ感染症の為、様々な活動が書面による開催や中止となり、児童生徒の、コミュニケーション能力の育成を十分に図る事が出来ない一年であったが、今年度は、会議や行事など交流を再開している。

【問】 被災地浪江町支援から学び得たものは何か。また町政にどんなことを活かすか。

【答】 毛呂山町東日本大震災復興支援プロジェクト委員会を立ちあげ、物資や義援金の提供、ボランティア活動等を行った。被災地の緊迫感、過酷さ、復興の難しさなどです。災害と復興、地域の在り方など根底にあるものが問われている。その中で官民一体の支援は有意義であった。

【問】 防災計画や防災訓練への影響は有ったか。

【答】 これからの強い町づくりを目指す中で情報を共有できた。今後の防災に対する方向性を掴んでいきたい。

【問】 浪江町への支援、交流を続ける考えはあるか。

【答】 浪江町の現状を把握し、今後も支援を進めたい。



更に増やそう桂木ゆずの加工品

## これからの毛呂山町はどんなのか！

### 【図】より良いまちづくりを目指していきたい



堀江 快治

自動運転技術の社会実装の検証について伺う。

自動運転バスの運営や経済性等の調整が必要な状況。デジタルガバメントの実現

について進捗状況は。

【答】 地域情報写真サービスの実装や、RPAプロジェクトチームを通して業務効率化の検討を行っている。

【問】 先端産業の育成と実装についての成果と課題は。

【答】 もろやま創成舎を設立し、ビジネスコンテストを開催した。コンテストの開催時期や採択基準等が課題と考えている。

【問】 エネルギー政策の充実を起点としたまちづくりについての進捗状況は。

【答】 民間事業者による町内調査、町施設の現地調査等を実施し、ソーラー発電について事業化できるか検討中。

【問】 創成舎の課題は何か。

【答】 ふるさと納税の目標額に達していないことが大きな課題。

【問】 町はスマートシティ事業において本町を大きく変化させると説明してきたが、具体的な成果が見えてこない現状をどう考えているのか。

【答】 成果を出していくことに鋭

意努力していく。

【問】 様々な財政課題が存在している中で、今後の行財政運営の考えは。

【答】 行財政改革を推進すると同時に、持続可能なまちづくりを目指していく。

【問】 来年度の当初予算編成方針について伺う。

【答】 限られた財源の中で、コロナ対策や少子高齢化対策、通学路の安全対策など優先順位に基づき、最小の経費で最大の効果が得られるように予算編成を進めていく。

毛呂山町スマートシティ先行モデル事業（毛呂山町）



成果が見えないスマートシティ事業

# 川角西原地区に大型商業施設開発は可能か

## 市街化調整区域であり、都市機能施設は含まない



長瀬 衛

**問** 立地適正化計画は、都市再生特別措置法に基づき作成したコンパクトシティの考え方の町の重要計画である。生活サービス拠点の計画的誘導により、20

年後の空き家率15%、地価公示10%上昇等の目標を定めているが、大原則である居住誘導、都市機能誘導の考え方は。  
**答** 居住誘導区域は、人口密度を維持し、良好な生活環境が確保されるように居住を誘導すべき区域であり、都市機能誘導区域は、鉄道駅周辺の公共施設が整備されている都市の拠点となるべき区域である。

**問** 都市機能誘導区域はどこに設定するのか。  
**答** 鉄道駅半径500m以内の区域に設定する。

**問** 都市再生特別措置法による居住誘導区域の設定基準は。  
**答** 居住誘導区域に含まない区域は市街化調整区域である。

**問** 大型商業施設の開発を許可した川角西原地区は法的に定められた居住誘導区域か。  
**答** 開発許可した西原地区は、市街化調整区域である。

**問** 町の全ての上位計画に整合させた上で、法に基づいて定めた町計画に違反しているのか。  
**答** 川角西原地区は居住誘導区域に含まれない。違反していることが分った。目白台地区に歩いて買い物ができる環境として商業施設を積極的、速やかに誘導すると定めている。

**問** 多数の会社に声を掛けたが、見つからなかった。  
**答** 西原地区への大型商業施設開発は、目白台地区への商業施設誘導という大きな課題を困難にするものだからだ。住民に説明したのか。  
**答** 今後も誘致を進める。

**問** 令和3年12月21日に協議会を開催すべく、開催通知の発送等準備を進めている。  
**問** 次年度の重要となる政策は。  
**答** 新型コロナウイルス感染症への対応、少子化対策の充実、公共施設の長寿命化対策、町主催イベントの抜本的な見直し、通学路の安全対策等である。

# 協議会一回目の開催は

## 12月21日の開催に向け準備している



佐藤 秀樹

**問** 前回9月議会でのわたくしの川角駅周辺整備に対する一般質問の答弁で9月末、遅くとも10月上旬に第一回目の協議会を開催すると言っていたがまだ開催

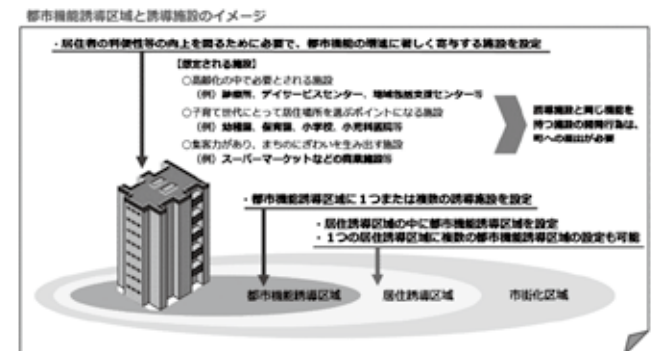
されていない。議場での約束であり、余程の事情が無い場合、むやみに変更する事は出来ないと思うが出来なかった理由は何か。  
**答** 10月21日で予定していたが衆議院選挙が行われた為、川角駅を造る会の方からも選挙が終わってからでも良いのではと提案も受けた為。  
**問** 再度約束して頂きたい。第一回目の開催はいつか。

**問** その中でイベントに対しどの様に検討しているのか。  
**答** 町レク等集客を伴うイベントについて見直しの取組みを進めている。  
**問** 定住促進の為の空き家対策

についての政策は。  
**答** 町の魅力や強みを更にPRしながら進めていく。  
**問** 3回目コロナワクチンに対する町の考えは。  
**答** 2回目の接種を終了した日から8ヶ月経過する人に、順番に接種券を発送する。5月に接種した高齢者から1月に追加接種をして頂く。



一日も早い事業着手を望む川角駅周辺整備



商業施設等は市街化区域内の居住誘導区域の内側に誘導(立地適正化計画)

## 町の子育て支援は

### 進めよう



平野 隆

え合う事業です。保護者が外出

する際の一時預かりや子供の習

い事や保育園の送迎など。

**問** 毛呂山の子育てサービ

**答** アンケート調査によると、

3割が満足、1割が不満である。

**小中学校の現状**

**問** 小中6校の中に、いじめの

問題はあるのか。

**答** 令和2年度は、小中学校合

わせて15件と把握している。冷

やかしやからかい、悪口や脅し

が大半を占めている。

**問** 学校ではいじめ問題を早期

発見し、しっかりと対処してほ

しいが如何か。

**答** いじめを初期段階のものも

含めて積極的に認知しその解消

に努める。いじめが放置されな

いよう『いじめゼロ』ではなく、

『いじめ見逃しゼロ』という視

点で解消に向けた取り組みを行

つてまいる。

**お悔み手続きについて**

**問** 高齢化に伴い、亡くなった

方の遺族も高齢化が進んでいる

ため死亡後の手続きは大変

だという町民の声があるが

如何か。

**答** お悔みハンドブックの

作成や役場内で処理できる

手続きは各課と連携し案内

毛呂山町と言えは何か

**問** 町のセールズ戦略は。

**答** 大学病院の存在、災害

に強い環境、生活利便性の

良さ、スーパードインフ

ラが整っている。またやぶ

さめ祭りなどの歴史やゆた

かな自然を、本町の強みと

して発信していく。

**注** 今後も色々な手段で注

意喚起を続けていく。

**注** 馬頭観音の5差路も注

意が必要な場所、石碑自体

を移設してみてもどうか。

**答** 移設場所の検討や予算

面で調査研究の必要、地元

住民の理解も必要となる。



ファミリーサポートの様子

## 特殊詐欺対策に補助金制度導入を

### 先行導入自治体を参考に検討する



澤田 巖

民への周知として被害発生時期

は年末年始が多い事、大半の被

害者が高齢者家庭であることな

ど毛呂山町ホームページに掲載

すべきではないのか。

**答** 被害者9割近くが65歳以上

の高齢者であり年末年始発生件

数は115件、被害総額は約4

億円。高齢者を狙った詐欺と振り

込め詐欺への注意喚起を行う。

特殊詐欺対策型電話機を高



金銭の話が出たら、一度切って確認を

**問** ファミリーサポートセンタ

ーの実態は。

**答** 子育ての手伝いをしたい人

が会員登録し、センターの仲介

を通して、有償で会員同士が支

援を受ける。

**問** 小中6校の中に、いじめの

問題はあるのか。

**答** 令和2年度は、小中学校合

わせて15件と把握している。冷

やかしやからかい、悪口や脅し

が大半を占めている。

**問** 学校ではいじめ問題を早期

発見し、しっかりと対処してほ

しいが如何か。

## 学校統廃合、住民合意は全くない！

### 【答】住民合意を取れるように努力する



岡野 勉

ほとんどの方の質疑がない。

【答】 広報には計8回の広聴会の概要を掲載、個別の広聴会についての報告ではありません。

【問】 広報「もろやま」の9月号に学校統廃合について広聴会の概要が掲載された。合計8回の広聴会で49名93件の質疑があった。掲載された意見は7件で、

【問】 この報告では住民の意見や質疑の記載がなく、多数に渡り答えられなかった質問にも無回答であり、誠意が感じられない。広聴会で「住民の声」を吸い上げる、受け止める、尊重する。これでは住民の合意どころか、

無視ではないか。なお、広聴会の議事録は教育委員、議員、学校評議員に配布したのか。

【答】 既に口頭で報告しました。

【問】 昨日同僚議員より「今後どう町は、学校統廃合の段取りを取るのか」との質疑があった。振り返って見ると◎毛呂山町

公共施設等総合管理計画及び公共施設個別施設計画のパブコメで17名中14名が反対意義あり。◎第3期毛呂山町教育振興基本計画でも5件中4件が反対。◎今年6月の住民広聴会でも圧倒的に反対の意見であった。全て住民は反対の意思表示だ。

教育委員会は3年前に「未来を拓く人づくり・プロジェクト基本方針」を決めたがどう扱うのか。

【答】 広聴会では小中一貫校の職員配置・教室配置図・財政等未提出で議論できない。今後とも広聴会を開催し住民合意を図ります。

**福祉会館にエレベーターか車いす昇降機の設置を！**

【問】 障害者の方が具体的に不便を被っている。法に則り早急に対策・改善を。  
【答】 以前から要望が寄せられ調査・検討をします。

## 町内進出企業の操業開始予定は

### 【答】イオンタウン(株)は来年6月オープン予定



高橋 達夫

年の3月建屋の建設工事が始まり、操業開始は令和5年10月、オリックス不動産(株)の物流倉庫は令和5年2月中旬、一般の企業進出としてイオンタウン(株)の操業開始は来年6月にオープン予定と聞いている。

【問】 町はそれらの企業による税収増をどのように捉えているか。

【答】 土地に係わる固定資産税はトーカーが年約300万円、オ

リックス不動産が年約400万円イオンタウンは年400万円の税収増を見込んでいる。

【問】 町には法人町民税均等割が企業の資本金と従業員数で300万円から5万円まであるが。

【答】 トーカーとイオンは最上級の300万になると考えている。

【問】 町には企業誘致促進条例があり、固定資産税の半分を免除する優遇措置がある。トーカーは10年間、オリックスは3年間だが、イオンはどうなるのか。

【答】 本町の企業誘致条例に該当する要件は、敷地面積3000㎡以上、延べ床面積1500㎡

以上でいずれも自己の所有が要件になっている。イオンタウンについては土地が賃貸借と聞いているので企業誘致条例は該当しない。

【問】 イオンタウンだけが再来年あたりから満額町の税収増になる。議会にも反対意見を言う議員もいるが、イオンタウンの進出は町の活性化と税収増、雇用の拡大になる。あのままでは町の真ん中に耕作放棄の農地が残る可能性があるか。

【答】 イオンタウンだけは町の固定資産税は満額入る。



来年6月オープンに向け工事が進むイオンタウン



学校統廃合は慎重に！まだまだ疑問がいっぱい残る！

## きめ細かな育児支援策で、少子化に歯止めを

### 人口減少に歯止め対策としての育児支援必要



神山 和之

止め対策として既にPR等は実施し、施策の人口にすぎない。本町母親の就労率は80%と高く、子育て支援の具体的な柱となる必要な施策について再度伺う。

**問** 就労支援も重要である。きめ細かなサービスを提供する。

**答** 兄妹で同じ保育園に入れず2個所に送迎している。受入側でも、3歳未満は保育士の数を増やす等の諸課題もあり受入困難

と聞く今後の対応について伺う。  
**問** ご指摘のとおり保育士の対応の問題もあり、今後調整する。  
**答** 子育てに不安を感じる保護者も多いと推察するが、消防署では、相談ダイヤルを設置し、町民の不安解消に努めている。町でも町民相談ホットラインを設け町民サービス向上に取組む必要があると思うが町長に伺う。  
**問** 消防署の救急相談は効果的、町も相談窓口を前向きに検討。  
**答** ファミリーサポート事業、他市町に比べ利用数が少ない。近隣市では、ひとり親世帯等に補助金を支出し支援している。利用者減

少理由について伺う。  
**問** 周知不足と反省します。  
**答** 庁舎地下に親子、妊婦等が情報交換や授乳子育て相談可能な支援室必要伺う。  
**問** 子供家庭総合支援拠点子ども課廊下に設置予定。  
**答** 子供家庭総合支援拠点  
**町道7号線等冠水について**  
**問** 町道の安全管理は町の責務だ。職員が退庁し措置が遅れた事、理由にならない。  
**答** 緊急時体制再確認する。  
**問** ゲリラ豪雨対策として早急な安全対策必要、だ伺う。  
**答** 歩道蓋を交換し歩車道にポストコーンを設置する。



育児支援は創意と工夫で、きめ細かな特色ある行政サービス必要

## 理科教育、観察・実験機器の整備は

### 学校現場の意見を把握し購入して参りたい



小峰 明雄

**問** 理科教育設備整備費等補助金事業、ご見解は。

**答** より良い理科教育環境で、児童・生徒が、学べるように、補助金を活用し整備に努めたい。

**問** 連続105回目の一般質問私の政治的姿勢は、児童・生徒の教育環境と子育て環境の充実について一貫して提言してまいりました。令和4年度の当初予算編成、幼児教育・義務教育の主な重要施策は。

**答** 学校施設の安全・安心で快適な教育環境の維持を目指して参ります。小中一貫教育の充実を努めて参ります。

**問** 中学校では、埼玉医科大学と連携した次代の親の育成に取組まれているが、令和4年度は。

**答** コロナ禍で令和2年度3年度は実施できませんが、実施できるように検討して参ります。  
**問** 毛呂山町小・中学校社会科研究展は、今年度で10回となりましたが、評価・改善、ご見解は。

**答** 改善点を検討、より良い事業となるよう努力して参ります。  
**問** 学校給食費のクラウドサービスを利用した徴収・管理業務の効率化、ご見解は。

**答** 給食費管理のシステム導入は、不可欠であると考えます。

**問** 令和4年度の当初予算編成、少子化対策・子育て支援対策の主な重要施策は。

**答** 子ども課に子ども家庭総合支援拠点の設置を予定。  
**問** 子育て応援事業補助金例えば町内の賃貸住宅にお住まいの方が、町内に持家にて定住した場合、ご見解は。

**答** 事例等を参考に検討。  
**問** 官民連携のフレイル対策、令和4年度は。

**答** くらしワンストップもろハピネス館のフィットネスやジム等を活用し、官民連携で進めて参ります。



児童生徒には、多くの観察や実験の機会を切望する

# 表彰

埼玉県知事表彰

岡野 勉 議員

入間郡町村議会議長会表彰

(在職10年以上)

村田忠次郎 議員

佐藤 秀樹 議員

※千葉三津子議員・荒木かおる議員は辞退

感謝状

入間郡町村議会議長会表彰

長瀬 衛 議員

(前会長)



# 人事

人権擁護委員

小室 貴子氏

昭和30年2月生

毛呂山町大字川角



# 全員協議会

## (仮称)毛呂山町子ども基金設置

**要旨** 設置目的は『将来を担う子どもたちが夢や希望をもって、健康に成長することができ、地域全体で子育てを応援し、子どもの将来を育む町づくりを行うため、基金を設置するもの。』

埼玉県内で類似した基金を設置しているのは7市町あり、使い道として児童館や子育て支援センターに遊具や図書を購入や小学校の通学用ヘルメット購入費用の助成などに使われています。

今後、毛呂山町子ども基金条例(仮称)案を議会に上程していく予定であると説明がありました。



## 川角リサイクルプラザ内で火災発生

復旧費に2億2330万円

令和3年10月18日に同施設内で火災が発生、主な原因は充電式電池が処理する過程で衝撃が加わり発火したと考えられるとの説明がありました。設備の復旧には、早くても半年以上の期間がかかる見込みであり、多額の復旧費用も必要となります。

今一度捨てる前に点検をし、充電式電池をゴミや資源に出さずにリサイクル協力店の回収BOXへ出してください。



## 傍聴席

### 12月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
11月30日(火)	1名
12月 1日(水)	9名
12月 2日(木)	33名
12月 3日(金)	4名
12月 6日(月)	10名
12月 7日(火)	0名
12月10日(金)	0名
合計	57名

## あしがき

昨年の世相を表す漢字は「金」東京オリンピック・パラリンピックにおいて日本人選手が多数のメダルを取ったことや、大谷翔平選手が大リーグでMVPを獲得、藤井聡太さんの最年少四冠達成など各界で金字塔を打ち立てました。

本町においても2人のオリンピック選手が会場に多いに盛り上がりました。一方で本町出身のプロ野球選手、武藤祐太投手が現役を引退しました。飯能南高校のホンダの中日ドラゴンズと横浜DNAベイスターズ。プロ通算成績は198試合に登板し10勝9敗。スポーツ健康都市宣言から今年で33年目を迎える毛呂山町。各種スポーツ競技で本町出身のアスリートが活躍することは町の誇りです。新たな環境でも活躍することを願います。(下田 泰章)

## 編集委員

委員長 千葉三津子  
副委員長 澤田 巖  
委員 下田 泰章  
平野 隆  
佐藤 秀樹  
荒木かおる  
アドバイザー 議長 小峰 明雄